

マイクロプラスチックから 市民科学を考える



正しく処理されていないプラスチックゴミは、風化を経て河川や海洋に蓄積し、生態系に悪影響を及ぼします。G7での国際的な議論や米国スターバックスのストロー廃止などは記憶に新しいものです。今回の市民科学研究会では、市民サイドからマイクロプラスチック問題に取り組んでいる事例を紹介します。

2019 **12 / 15** 日曜日 **14:00~17:00**

東京都大学 横浜キャンパス 3号館1階 31E実験室

生物多様性アカデミー会員 / 非会員初回参加 / 学生：無料

非会員2回目以降の参加の場合は生物多様性アカデミーへの加入をお願いしております（年会費3,000円）

台風による延期によりスケジュールを変更しました。前回お申込みの方も再度お申込みください。

14:00 開催の挨拶と市民科学の最新情報

小堀洋美（生物多様性アカデミー代表、東京都大学特別教授）

14:10 実践事例から学ぶ

1. 「市民科学からフォーカスした海洋環境におけるプラスチック廃棄物」

亀山豊（生物多様性アカデミー・主席研究員）

2. 「『調べるごみ拾い』って何？その結果と意義」

今村和志（NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム事務局長）

15:30 パネルディスカッション

16:10 ワークショップ

「比重からプラスチックの成分を知る」

「スマホ+マイクロ顕微鏡でマイクロプラスチックを観察する」

17:00 閉会

17:20 懇親会

費用：3,500円程度（学生は半額）

参加登録

参加を予定している方は、右のQRコードにある登録フォームより参加登録をしてください。



アクセス

横浜市営地下鉄ブルーライン中川駅より徒歩5分
詳細は右のQRコードよりご確認ください



問い合わせ E-mail : info[at]bda.or.jp [at]には@を入れてください

主催 (一社)生物多様性アカデミー / 東京都大学環境学部 市民科学プロジェクト室